

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 9日

事業所名 放課後等デイサービス STARS

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90%	10%	0%	国の基準である児童一人当たり2.47㎡を上回る3.3㎡を確保しています。 死角のない目の届く環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	90%	10%	0%	手摺りなどは設置していませんが、バリアフリーでフロアの段差はありません。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	40%	0%	支援会議や研修時等で全員が参画して取り組んでいます。 毎日のミーティングで支援について細かく話し合い、課題の改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	90%	0%	10%	年度末までに事業者評価及び保護者アンケートを実施し、業務の改善に努めています。面談時に要望なども伺っていますので、更に意向等の把握に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60%	30%	10%	ブログで公表させていただき、施設の相談室にも掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	30%	10%	菅原社会保険労務士による外部評価を職員に告示していきながら、業務の改善に努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	90%	10%	0%	虐待・拘束・ハラスメント・ガイドライン・法令・感染症等様々な研修を実施していて、外部研修を受講した職員は全職員に研修内容を伝えています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	90%	10%	0%	基本情報・課題分析のアセスメントシートを使用し、JSIRシートなども用いて適応性や感覚統合なども把握できる様に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40%	60%	0%	企画立案の担当社員が中心に行っていますが、毎日のミーティング時に細かな内容なども職員間で話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60%	40%	0%	季節の行事だけではなく、様々な事に挑戦できる様に活動を固定化しないよう配慮していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	40%	0%	休校日や長期休暇時には、平日では見えてこない課題、余暇の過ごし方や食事の方法などにも着目し、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	0%	10%	個々の状況に応じて課題や生活上の問題などを個別活動や集団活動を通して生活自立、社会参加出来る様に作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40%	60%	0%	送迎後に職員間で1日を振り返り、気付いた点や情報の共有を行い、次の支援に活かせる様にしていきます。 翌日のミーティング時でも確認をしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%	0%	PDCAを行うに当たって、最低半年に1回はモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	90%	10%	0%	ガイドライン研修を年1回実施、理念や意義、基本活動などを確認しながら支援を行っています。